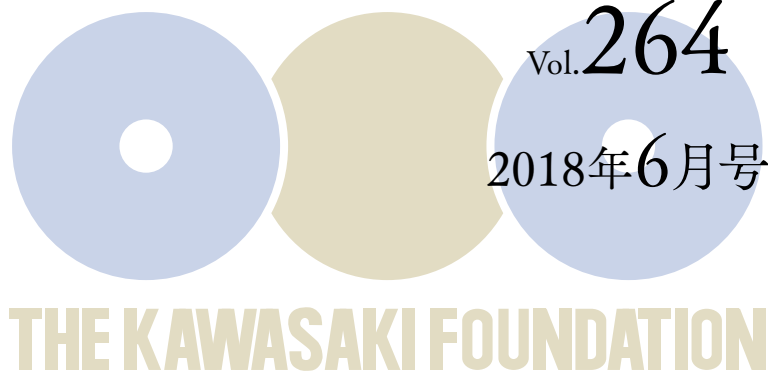


かわさき アートニュース



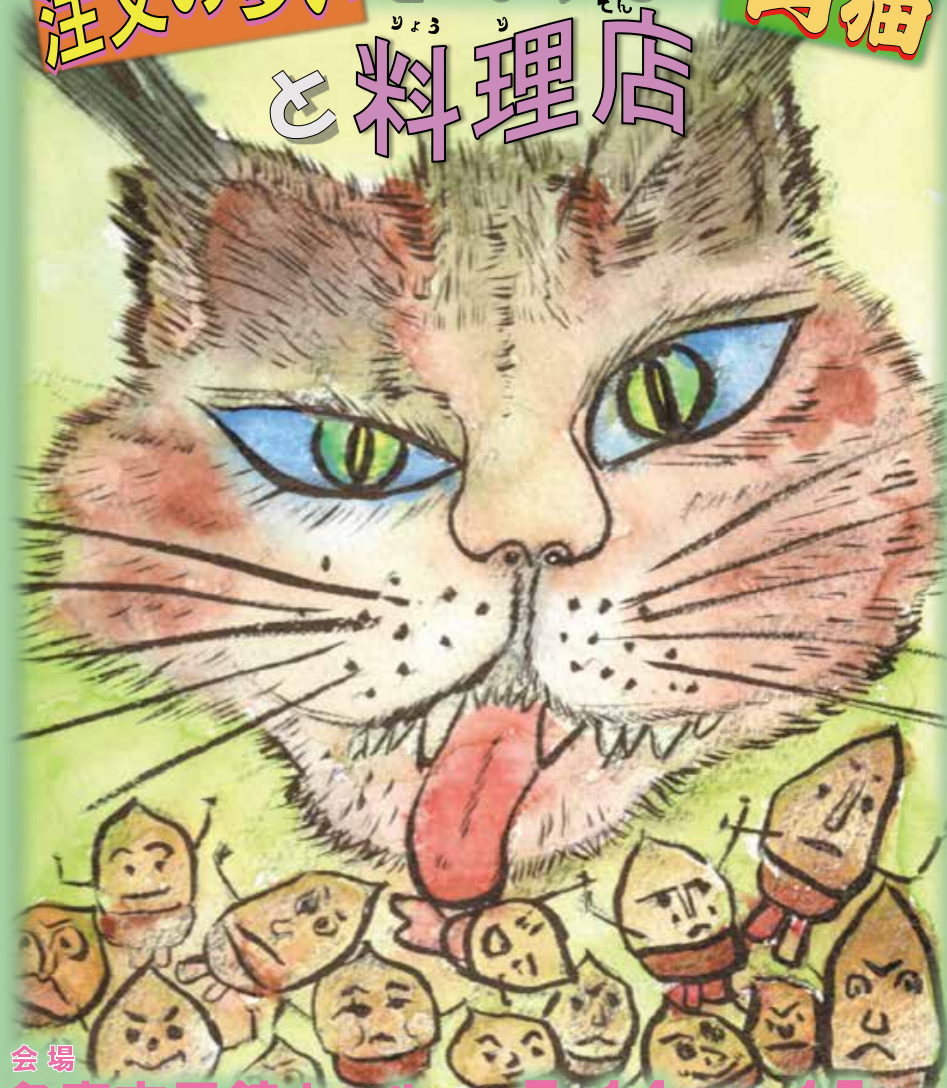
Vol. 264

2018年6月号

第38回かわさき演劇まつり (平成30年度) 《親と子で楽しめる舞台》

～宮沢賢治の不思議な童話宇宙～

注文の多いどんぶりと山猫 と料理店



会場

多摩市民館ホール 7月14日(土)・15日(日)

午前の部 11時 午後の部 3時 (両日共)

CONTENTS [目次]

02 | 特集 第38回 かわさき演劇まつり インタビュー:大西弘記さん(演出家)

04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール 07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館 08 | イベントレビュー

10 | 美術 市内ギャラリー情報 13 | 演劇 アルテリオ小劇場 14 | 映画 アルテリオ映像館

第38回 かわさき演劇まつり《親と子で楽しめる舞台》

～宮沢賢治の不思議な童話宇宙～

「注文の多いどんぐりと山猫と料理店」

インタビュー／大西弘記さん(演出家)

市内アマチュア劇団育成と市民により良い演劇を届けることを目的とし、1972年に始まった「かわさき演劇まつり」。46年にわたって、公募で選ばれた一般市民と川崎市を拠点とする劇団に所属するプロの俳優が手を組み、観客の好評を得てきました。

今回は宮沢賢治の童話世界をお届けします。川崎市在住の劇作家 丸尾聡さんが宮沢賢治の作品を脚色し、この公演のために脚本を書き下ろしました。

今回、演出を務める新進気鋭の演出家 大西弘記さんに公演の見どころや演劇の魅力についてお話を伺いました。

演劇でどこまで楽しいことができるのか?!

——今回の出演者と稽古の状況についてお聞かせください。

今回は小学校1年生から83歳まで30名の幅広い出演者が集まりました。本当に個性豊かな方ばかりなので、どんな舞台になるか今からとても楽しみです。

「かわさき演劇まつり」としては初めての新作公演で、まだ台本が届いたばかりです。出演者たちは「なんでここはこういう台詞なのか」など、いろいろな疑問符を抱えるので、台本の解釈について話し合う時間をたくさん設けています。演じる側が心をきちんと整理していないとお客さんの心はつかめませんから、そこを調整していくのが演出の仕事です。

演出という立場はある意味権力を持っているので、役者と平等であっても対等ではありません。基本的にはみんなで仲良く作って分かち合いたいですが、最終的に全

責任を持つのは僕なので、しっかりと出演者たちをアジャースションしていきたいなと思います。

30名の出演者がいるので30通りの問題が起こってもおかしくありません。僕が演劇を続けてきた経験を生かしながら真摯に丁寧に向き合って、出演者たちを気持ちよく舞台に乗せたいなと思います。

宮沢賢治の童話宇宙を演劇で

——宮沢賢治没後85年の今年、「注文の多い料理店」「どんぐりと山猫」「氷河鼠の毛皮」を組み合わせた作品を上演します。台本を受け取った時の感想はいかがでしたか?

カレーライスとハンバーグとナポリタンと唐揚げが全部乗ったプレートみたいだと思いました(笑)。「すごい作品だな、どうやってやるんだろう」というのが第一印象です。

宮沢賢治の物語は、1回や2回読んだだけでは分からないところがありますよね。僕もまだ分からないところがありますが、この台本の世界をどうやって演劇で表現しようか工夫することが芸術であると思いますし、分からないから面白いんですね。作品を徹底的に追及・探求して、世界を一体化したいです。

今、出演者全員で台本読みをして配役を考えているところですが、全員の力量も考慮しないといけませんから、すごく悩みます。僕の場合は配役で演出の仕事は50%終わっていると思います。企画によってはプロデューサーが配役をするというパターンもありますが、演出家がキャスティングするのはとても重要なことだと思います。



出演者たちとの顔合わせで演技について話す大西さん

リアルな演技

——出演者にはどのように演技指導をされているのでしょうか。

演劇には台詞があって「次に相手は何を言って、自分が何を言わなきゃいけない」という予定調和のようなものがあります。予定調和にならないようにするには、その瞬間に起こっていることを信じなければいけません。目の前で起こっていることを10回やったら10回違って受け取れるような心の準備というか、影響を受けやすいメンタルにしておく必要があります。僕は稽古で役者たちに「今、なにが起こっているかを感じて」とよく言います。今起こっていることを見つめると、今自分が思ったとおりのリアクションができるのです。

役者同士が日常でとるコミュニケーションもとても大切です。僕は表現をしていくためのヒントは、日常にたくさん転がっていると思っています。稽古より日常のほうが色んな勉強ができるんですよ。

あとは見稽古です。自分と別の役者がどういう芝居をするのか、演出家のダメ出しとチェックをどういう風に受け取っているのかを見て、自分の立場に置き換えるという視点が必要です。



プロフィール

大西 弘記 Onishi Hiroki(劇作家/演出家/TOKYOハンバーグ主宰)

三重県伊勢市出身。1999年～2004年伊藤正次演劇研究所に入所し演劇を始める。2006年に自らの作品を上演するため企画・制作の母体となるTOKYOハンバーグを立ち上げる。これまでのTOKYOハンバーグ上演作品のすべてを脚本・演出担当する。一筋の涙が零れるかどうかといった「心の榮養」をモットーにした、強い普遍性と現代リアルのバランスを保つ丁寧な劇作・演出スタイルから舞台側と客席側を繋ぐ。「最後に歩く道」で2015年度サンモールスタジオ選定賞最優秀演出賞を受賞。近年では、2017年度日本劇作家協会プログラム「KUDAN」(作・演出)、ミュージカル劇団ボブラ「チョコレート戦争」「私の星と君の星」(作・演出)秋田雨雀・土方与志記念青年劇場「きみはいくさに征ったけれど」(作)等、数多くの作品を手がけている。

演劇を愛するユニークな劇作家

——脚本を書かれた丸尾さんについてお聞かせください。

丸尾さんは、生きている劇作家で初めて影響を受けた方です。

僕は山田洋二監督の映画の世界に憧れて20歳の時に上京し、伊藤正次演劇研究所で演劇を学びました。先生は僕が25歳のときに亡くなってしまい、同時に研究所の歴史25年にも幕が降りました。それからフリーで活動を始めたのですが、研究所で学んだ作品は明治、大正、昭和初期のものばかりだったので、当時は現代の劇作家の作品を全く知りませんでした。ですから小劇場でいろんな演劇を観るようになって、すごいカルチャーショックを受けたんです。その時に丸尾聡という劇作家を知りました。丸尾さんの芝居を見て面白いと思って、台本を手に入れたり、ブログを読んだり、上演を見に行ったりしていました。今では冗談を言い合う仲になり、尊敬すると同時に親しみを持っています。僕より15歳も年上ですが、全く先輩風をふかさず接してくださるので、僕が丸尾さんの年齢になった時に同じように若手に接したいと思っています。

丸尾さんは本当に演劇を愛しているらしいです。彼の作品を演出できるのは、とても光栄なことです。

想像力豊かな子どもに見てほしい

——どんな方に観ていただきたいですか？

宮沢賢治という、とてもユニークな人間が残したものを丸尾聡というこれまたユニークな劇作家が脚色して、不思議な童話宇宙を作り上げました。

子どもがすぐく入り込める世界だと思いますから、ぜひお子さんに見てほしいですね。子どもの想像力は、大人とは全然違います。大人になるにつれ、知識や教養を身に付ける代わりに想像力がだんだん薄くなってしまいますから、子どもの段階でぜひ体験してもらって、想像力がいかに大事かということを心の奥に宿し、育ててくれればと思います。

これからたくさんの素晴らしいものと出会っていくと思いますが、何を選ぶかはその人の才能ですから、そういう豊かな心を育むきっかけになればうれしいですね。この作品を見ることが「心の栄養」になればいいなという思いです。

「演劇は世直し」

——今回の公演で伝えたい演劇の魅力は？

演劇の魅力は、「観客の目の前で、生きた人間が自分の人生でない人生を歩む」というリアルです。それはブラウン管には映りませんし、書籍でも感じられません。演じる側はそのことを意識して、ちゃんと呼吸している芝居をしないとイケません。記録には残りにくいですが、記憶に残るのが演劇です。

僕の先生は「演劇は世直しだ」とよく仰っていました。でも日本や世界中で起こる悲惨な事件などを目の当たりすると「演劇をやっている、世の中はちっとも良くなれない」と先生の言葉を疑った時期もありました。今は何も疑わずに、本当にそうだなと思っています。人の心が豊かであれば、健やかだろうと思いますし、人間は考えるから感じ方も行動も言動も変わっていきます。その先には平和という世界があります。演劇を通じて間接的にそういう世界を導いていき、世直しをしたいですね。

劇場でしか感じられない世界

——観客へメッセージをお願いします。

僕にとって川崎は、人生で一番長い時間を過ごした第二の故郷です。地元で公演できるのはやっぱりうれしいですし、地元の劇団の大先輩の方々と芝居を作るのは刺激を受け、とても楽しいです。

デジタル化していく社会の中で誰もが自分の生活にせわしなさすぎて、他人の生活や他の事柄に目を向けることが少なくなっています。娯楽的なものは世にいろいろとありますが、テレビやパソコンや映画、絵画などでは感じられないことが劇場にはあります。好きな人とテレビ電話で話すのと、目の前で話すのでは全然違いますよ



出演者全員で多摩川に散歩

ね。モニターではなく、生で見る世界を、劇場に足を運んで見にきていただければと思います。

ぜひ、お子さんと一緒に夏休みの思い出に宮沢賢治や僕らと出会いに来てください。

あらすじ

Story

原稿用紙に向かって筆をとった宮沢賢治が初めに書き出したのが童話でした。

森の生きものたちの面倒な裁判に巻き込まれた一郎君の物語(『どんぐりと山猫』)、山の中の西洋料理店に迷い込んだ狸師たちのてん末(『注文の多い料理店』)、北へ向かう列車がある事件に遭遇する『氷河鼠の毛皮』。このお芝居は、賢治の童話世界を時空を超えてさようへんテコな旅の物語。果たしてこの先に何があるのか、探しものは見つかるのか……？一郎少年とともに行く、ちょっと謎めいた童話宇宙への小旅行です。

公演概要

Information

『注文の多いどんぐりと山猫と料理店』

[原作]宮沢賢治

童話「注文の多い料理店」「どんぐりと山猫」

「氷河鼠の毛皮」より

[脚本]丸尾 聡

[演出]大西弘記(TOKYOハンバーグ)

[出演]公募の市民・京浜協同劇団・

劇団ラニョリ・劇団企てプロジェクト ほか

[日時]7/14(土)・15(日)

11時開演・15時開演(両日とも)

[入場料]大人2,000円

子ども(高校生以下)1,000円

[会場]多摩市民館ホール

(川崎市多摩区登戸1775-1)

JR南武線登戸駅から徒歩10分・

小田急線向ヶ丘遊園駅北口から徒歩5分

[チケット申込方法]

以下を明記のうえ、ハガキ・FAX・メールでお申込みください。

①お名前 ②観劇希望日時

③チケットの枚数(大人 枚、子ども 枚)

④住所 ⑤電話番号

[申込宛先]

かわさき演劇まつり実行委員会

〒212-0052 川崎市幸区古市場2-109

TEL:044-511-4951

FAX:044-533-6694

メール:matsuri_engeki@yahoo.co.jp



Facebook

チケット販売サイト
カンフェティ、CoRich
でも販売中!!

●主催／(公財)川崎市文化財団・

かわさき演劇まつり実行委員会

●共催／川崎市・川崎市教育委員会



第37回かわさき演劇まつり「ブンナよ、木からおりてこい」公演風景 撮影：山村 徹

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集第138回

年齢を重ねるごとに音楽への深みが増しているマエストロ小林が振る「悲愴」、そして日本を代表するピアニスト・田部京子の十八番ともいえるグリーグの「ピアノ協奏曲」をお楽しみください。

【日時】6月10日(日) 14:00開演

【出演】指揮：小林研一郎 ピアノ：田部京子

【曲目】グリーグ：ピアノ協奏曲 チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」

【チケット】S6,000円 A5,000円 B4,000円 C3,000円 当日学生券1,000円



小林研一郎



田部京子

いよいよ6月19日(火)一般発売開始！

東京交響楽団

歌劇「フィガロの結婚」(演奏会形式)

【日時】12月7日(金) 18:30開演(22:00終演予定)

【曲目】モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」
(演奏会形式／全4幕／日本語字幕付き)

【出演】指揮／ハンマーフリューゲル：ジョナサン・ノット
演出監修／バルトロ／アントニオ：アラスデア・ミルズ
フィガロ：マルクス・ウェルバ
スザンナ：リディア・トイシャー
アルマヴィーヴァ伯爵：アシュリー・リッチズ
アルマヴィーヴァ伯爵夫人：ミア・パーション
ケルビーノ：エイブリー・アムロウ
マルチェリーナ：ジェニファー・ラーモア
バルバリーナ：ローラ・インコ
バジリオ／ドン・クルツィオ：アンジェロ・ポラック
合唱：新国立劇場合唱団

【チケット】S13,000円 A10,000円 B7,000円 C5,000円
車椅子S席9,100円 車椅子C席3,500円



ジョナサン・ノット



アラスデア・ミルズ



マルクス・ウェルバ



リディア・トイシャー



アシュリー・リッチズ



ミア・パーション



エイブリー・アムロウ



ジェニファー・ラーモア



ローラ・インコ



アンジェロ・ポラック

トン・コープマン パイプオルガン・リサイタル

世界の巨匠がミューザに再び登場！幅広いレパートリーから厳選のプログラム。
前回好評だったバロック談義も併せてお楽しみください。

【日時】7月13日(金) 19:00開演 【出演】オルガン：トン・コープマン

【曲目】D.ブクステフーデ：プレリューディウム 二長調 BuxWV 139
わが愛する神に BuxWV 179

F.クーラン：「修道院のためのミサ曲」より 奉納唱、聖体奉挙

C.Ph.E.バッハ：ソナタ 二長調Wq 70-5

J.S.バッハ：前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552

フーガト短調 BWV578(小フーガ) ほか

【チケット】全席指定3,500円 小学生～25歳1,000円

好評につき
Vol.2開催！



トン・コープマンのバロック音楽談義 Vol.2

【日時】7月14日(土) 19:00開始

【出演】講師：トン・コープマン 通訳：大塚直哉

【チケット】一般1,500円

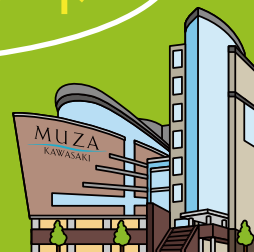
(2018年7月13日(金)「トン・コープマン パイプオルガン・リサイタル」チケットをお持ちの方は、副券で入場できます。)

『オーケストラ入門!』

7月1日は川崎市の市制記念日で、
ミュザの開館記念日でもあります。
家族やお友達も誘って、ミュザで
素敵な音楽に触れてみよう!

ミュザの日2018
ウェルカム・コンサート

秋山和慶(指揮)
東京交響楽団(管弦楽)



MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

音楽のまちかわさき

大木麻理(パイプオルガン)

13:45から
プレトークも
お楽しみ
いただけます。

朝岡聡(お話)

指揮者
体験コーナー

あこがれの
マエストロになろう!

*要事前エントリー
詳細は裏面

♪ モーツァルト:「フィガロの結婚」序曲 ♪ 音楽のひみつ「メロディ／リズム／ハーモニー」を大解剖!

♪ バーンスタイン:キャンディード序曲 ♪ パイプオルガンコーナー ♪ 指揮者体験コーナー ♪ エルガー:行進曲「威風堂々」

2018.7.1 [日] 14:00開演 (13:00開場 約70分途中休憩なし) ミュザ川崎シンフォニーホール

全席指定(税込) 大人 ¥2,000 シニア(65歳以上) ¥1,500 こども(4歳~中学3年生) ¥500

申込・お問合せ = ミュザ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200

主催 = 川崎市、ミュザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援 = 川崎市教育委員会 協力 = バイオニア株式会社

2018年
6月

ミュージア川崎シンフォニーホール コンサートカレンダー

MUZA Kawasaki Symphony Hall Concert Calendar

「6月の催し」

*チケット料金、残席情報等は各公演の
お問い合わせ先までお尋ねください。

1 金
19:00開演

MUZAスペシャル・ナイトコンサート90

ザ・キングズ・シンガーズ ～英国が誇る、究極のア・カペラII～

合唱:ザ・キングズ・シンガーズ
スカボローフェア/J.レノン&P.マッカートニー:アンド・アイ・ラブ・ハー/ふるさと/ブラームス:私の胸の思いのすべて/シューベルト:男声合唱曲「夜」 他

全席指定 ¥3,500
U25(小学生～25歳) ¥1,000

お問合せ MUZA 友 チケット

2 土
13:30開演

ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2018前期

「バラード～オール・ショパン」シャルル＝リシャル・アムラン ピアノ・リサイタル

ピアノ:シャルル＝リシャル・アムラン
(オール・ショパン・プログラム) ノクターン第20番 嬰ハ短調(遺作)/4つの即興曲より/ボロネーズ第6番「英雄」/バラード 全4曲

全席指定 ¥4,100
舞台後方席 ¥2,500

お問合せ 神奈川芸術協会 045-453-5080 友 チケット

3 日
14:00開演

東京イギン ハツラツ感動、あなたのコンサート Vibrant & Lively

指揮:佐々木新平 ピアノ:野上真梨子* 管弦楽:東京交響楽団
グリーンカ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲/プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番/ベートーヴェン:交響曲第3番「英雄」第1楽章/
ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」第1楽章 他

¥8,000 ¥6,000

お問合せ イギン広報室 03-5495-1911 (平日10時～18時 土日祝日除く) チケット

9 土
14:00開演

ウィーン少年合唱団

ウィーン少年合唱団(ハイドン組) カペルマイスター:ジミー・チャン
プログラムA 「ウィーン少年合唱団と動物の世界」/シューベルト:鱈、ナイチンゲール/J.シュトラウスII:山賊のギャロップ/
久石譲:となりのトトロ/はたるこい/J.シュトラウスII:ウィーンの森の物語 他

全席指定 ¥5,900/舞台後方席 ¥2,000

お問合せ 神奈川芸術協会 045-453-5080 友 チケット

9 土
19:00開演

フランクフルト放送交響楽団

アンドレス・オロスコ＝エストラダ(音楽監督・指揮) ヴァイオリン:ダニエル・ロザコヴィッチ*
ワーグナー:歌劇「リエンツィ」序曲/メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調/ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」

¥16,000 ¥14,000 ¥11,000
¥8,000 ¥5,000

お問合せ ジャパンアーツびあ 03-5774-3040 チケット

10 日
14:00開演

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集第138回

指揮:小林研一郎 ピアノ:田部京子
グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調/チャイコフスキー:交響曲第6番 ロ短調「悲愴」

¥6,000 ¥5,000
¥4,000 ¥3,000

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

13 水
12:10開演

JXTGエネルギー Presents

MUZAランチタイムコンサート 東京交響楽団弦楽四重奏

東京交響楽団弦楽四重奏 ヴァイオリン:土屋杏子、河裾あずさ ヴィオラ:多井千洋 チェロ:伊藤文嗣
モーツァルト:弦楽四重奏曲 第17番「狩」より第1楽章/ラヴェル:弦楽四重奏曲より第2楽章/メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第5番より第1楽章 他

全席自由 ¥500

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

13 水
19:00開演

JXTGエネルギー Presents

MUZAナイトコンサート60 東京交響楽団弦楽四重奏

東京交響楽団弦楽四重奏 ヴァイオリン:土屋杏子、河裾あずさ ヴィオラ:多井千洋 チェロ:伊藤文嗣
モーツァルト:弦楽四重奏曲 第17番「狩」より第1楽章/メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第5番

SS指定席 ¥2,000/自由席 ¥1,000

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

16 土
14:00開演

慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ 第224回定期演奏会

指揮:大河内雅彦 管弦楽:ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
ブラームス:大学祝典序曲/スメタナ:「わが祖国」より第2曲モルダウ、第3曲シャルカ/フランク:交響曲二短調

¥2,000 ¥1,500
¥1,000

お問合せ 神農 070-5021-0105 wagner.s.ticket@gmail.com チケット

17 日
11:00開演

モーツァルト・マチネ 第34回

指揮:園田隆一郎 ソプラノ:田中彩子 管弦楽:東京交響楽団
モーツァルト:歌劇「劇場支配人」序曲 アリエッタ「別離の時の鐘は鳴り」/アーン:オペレッタ「モーツァルト」序曲/
モーツァルト:アリア「私はあなたにうけたいのです、おお、神よ!」/モーツァルト:交響曲 第36番 ハ長調「リンツ」

全席指定 ¥3,500
U25(小学生～25歳) ¥1,000

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

17 日
17:30開演

神奈川大学管弦楽団 第71回定期演奏会

指揮:松岡 究 管弦楽:神奈川大学管弦楽団
ニコライ:歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲/ビゼー:歌劇「カルメン」第1組曲・第2組曲より 抜粋/ブラームス:交響曲第1番

¥1,000 ¥800 ¥500

お問合せ 神奈川大学管弦楽団 045-481-7842 チケット

23 土
24 日
14:00開演

川崎市民合唱祭2018

第1部10:30～ 第2部13:50～ 第3部17:10～
出演:川崎市内で活躍する合唱団 【講師者】田中純子(23日のみ)、中村佳子、福永一博、森田花央里、柳澤涼子(24日のみ)【特別演奏】パイプオルガン:大木麻理 他
【全体合唱】好きでかわさき愛の街/かわさきのねいろ

全席自由 入場無料

お問合せ MUZA

30 土
14:00開演

NTTフィルハーモニー管弦楽団 第43回定期演奏会

指揮:田部井 剛
マーラー:交響曲第5番 嬰ハ短調/ビゼー:アルルの女「第一組曲」、「第二組曲」よりメヌエット、ファランドール

全席自由 ¥1,500

お問合せ NTTフィルハーモニー管弦楽団事務局 090-4608-1024 チケット

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミュージア川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意在ございます(一部、例外のある公演もございます)。
東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。
チケット マークの付いた公演は、ミュージア川崎シンフォニーホール・チケットセンターにてお取り扱いしております。
Ⓜ マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます。(セット券を除く)
残席状況はお問合せ下さい。売切の際はご容赦下さい。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314 <http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分

江戸時代の粋に遊ぶ その32

「都々逸」

7・7・7・5で詠む唄で、俳句や川柳とはひと味違った魅力がある都々逸。特に、男女の情感あふれる世界がいっぱい！ 寄席や『笑点』でもおなじみの音曲師・柳家紫文が、声に出しても楽しめる都々逸を御案内します。

日時：6月16日(土)14時開演(13時30分開場)

料金：1,500円

定員：80名(自由席・事前予約不要)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：柳家紫文

プロフィール

柳家紫文

音曲師・邦楽演奏家。群馬県高崎市生まれ。常磐津三味線方として歌舞伎等に出演後、1995年に柳家紫朝の弟子となる。都内の寄席を中心に日本各地で活躍中。歌舞伎座と鈴本など、歌舞伎と寄席の両本公演に出演したことのある歴史上唯一無二の三味線弾き(たぶん…)

著書「紫文式都々逸のススメ」発行/創美社、発売/集英社

「日本人沈没」発行/主婦と生活社

「華より花」発行/主婦と生活社(みな子著/企画・聞き書き) 他



川崎が生んだ多彩な粋人

『佐藤惣之助展』

詩人、俳人、作詞家、随筆家。また釣りや酒、旅行も好んでいた惣之助。そんな彼の生涯を写真パネルなどを使って展示します。

日時：5月8日(火)～6月24日(日)9時～17時

料金：無料

会場：東海道かわさき宿交流館3階展示企画室

プロフィール

佐藤惣之助

明治23年(1890)、橘樹郡川崎町砂子175(現・川崎区砂子2丁目)に生まれる。佐藤紅緑に俳句を学び、大正5年(1916)の最初の詩集『正義の兜』に続いて『満月の川』『華やかな散歩』ほか多くの詩集を出した。また、作曲家・古賀政男と組み『緑の地平線』『青い背広で』など戦前歌謡曲の売れっ子作詞家になった。昭和17年(1942)没。



展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



第113回 川崎市定期能



金春流と大蔵流狂言の能楽師をお迎えし、「川崎市定期能」を開催しました。

1400年もの歴史がある金春流。この度、初めて川崎市定期能にご出演いただきました。

第一部は、さまざまな売り声で昆布を売る様子が楽しい狂言「昆布売」と、昔話などでおなじみの「羽衣伝説」を題材にした能「羽衣」を上演しました。

第二部は、酒好きの男が鬼に化けて酒屋を営む伯母の家に入り込み酒を飲む様子が楽しい「伯母ヶ酒」と、仏舎利を盗んだ足疾鬼を、韋駄天という足の速い仏が追う能「舎利」を上演しました。足疾鬼と韋駄天が舞台を駆け回る、華やかな舞台でした。

次回の川崎市定期能(喜多流)は2018年8月11日(土)に開催します。

【お客さまの声より】

- 会場がコンパクトなため、どの席からも間近で見ることが出来るのが良い。能楽師たちの「気迫」が伝わってくる。ほかの能楽堂にはないライブ感がある。(50代/男性)
- 動きの激しい立ち回りを面を付けて演じられ、素晴らしかった。(70代/男性)
(3月25日 川崎能楽堂)

第9回 子ども狂言教室発表会

日本の伝統文化「狂言」を学ぶ『子ども狂言教室』の発表会を行いました。

川崎市在住の小学校3年生から中学校1年生までの29名の受講生が12月後半から全13回にわたる稽古を重ね、最終日に川崎能楽堂で稽古の成果を披露しました。

挨拶の仕方や正座などの基礎から、「しびり」や「福の神」などの狂言の曲目を実際に演じるまでを学んだ子どもたち。大蔵流山本家の狂言師たちによる指導のもと、台詞を全て覚えて本番に挑みました。

能装束に着替え、神聖な舞台裏で先生方と挨拶をしたのち、「大きな声でゆっくりと台詞を話すように」と指導を受けて、いざ能舞台へ。初々しい狂言師たちは、みな立派に生き生きと狂言を演じきっていました。

(3月30日 川崎能楽堂)



第70回 ラゾーナ寄席

第70回は約100名のお客様で賑わいました。

前座・三遊亭遊七さんの『金明竹』に始まり、ニツ目・瀧川鯉津さんがお名前にもちなんだ『狸鯉』で会場を大いに沸かせます。仲入り(休憩)では、来場者全員が参加できる「抽選会」があり、チャンピオンベルト柄など、嘶家らこだわりの手ぬぐいが注目を集めていました。当寄席世話人・桂米多朗師匠は、地元ネタに富んだ枕(本題に入る前のお話)から『鮑(あわび)のし』まで、お客さんとの信頼関係を感じさせる雰囲気、笑いどころの連続。トリは、東京芸術大学講師もなされている三遊亭遊之介師匠が『三方一両損』を披露。第一声から聞く人の心を鷲掴みにする巧みな話芸が光りました。江戸っ子職人達の財布をめぐる大喧嘩に、時代劇でお馴染みの町奉行・大岡越前守が下した名裁きとは…? お客さんまで江戸っ子のように粋に笑う姿が印象的でした。

毎月第3火曜日18:30開催、大満足の2時間です。

(4月17日 ラゾーナ川崎プラザソル)



第3回 講談de交流

たくさんのお客様が来場した講談会。まずは、前座の田辺凌天さんから「村越茂助一誉れの使者」。徳川家康とその家臣である村越茂助のお話。茂助は腕っ節は強くユーモアがあり、あの秀吉も一目置いている人物。しかし読み書きができないために他の家臣から馬鹿にされ……。雰囲気がとても穏やかな方でしたが、いざ本番になると声の調子が変わりますね。

続いては、一乃さん。川崎市生まれのお方。やはり地元からこういった方が出てくると嬉しいもので会場内から拍手が。またお師匠さんは ひげの先生こと田辺一鶴氏のお弟子さんだったようで、これまた歓声が上がりました。観客に女性が多かったこともあり演目は女性が主人公のものでお話は「巴御前」でした。

中入りをいれて、再び一乃さんの登場。演目は「赤穂の早打ち」。赤穂浪士のお話です。話の中に東海道の宿場町を順番に並べてしゃべるところがあったのですが、それが面白かった! 地口を交えながら立て板に水のごとく喋り倒す姿に観客笑いとお拍手。ちなみに、一乃さんは来年の4月に真打になるとのことです。

次回は、7月18日(水)14時からです。お楽しみに。

(4月18日 東海道かわさき宿交流館)



江戸時代の粋に遊ぶ 第31回 「民謡の技芸あれこれ」



第31回は、モード・アルシャンボーさんというカナダ人女性による民謡を中心とした出し物でした。またお囃子に、彼女のお師匠さんである村松喜久則先生と京極加津恵先生、モードさんと同じ門下の三木聖香さんも来ていただき、より華やかな舞台になりました。

「羽田節」、「千住節」、「おてもやん」、「秋田甚句」など計6曲を歌っていただきました。日本人でも難しいと思うコブシをきかせ、よく通る声で歌いあげているので聞いていて気持ちがいい。

体験コーナーでは、日本最古の民謡である富山県の民謡「こきりこ節」を会場全員で歌いました。また「ささら」「棒ささら」という楽器を持ってきて下さり、代表者数名が舞台へ上がり披露しました。特にささらはシャキッとした音を出すのが少し難しく苦戦しながらも楽しんでいました。最後に、「南部俵積み唄」を歌っていただき、京極さんの弾き唄&モードさんの民謡踊りで「秋田おぼこ」を披露してくださいました。

次回は、6月16日(土)14時から柳家紫文(しもん)さんによる「都々逸」です。

(4月21日 東海道かわさき宿交流館)

NTTアドバンステクノロジーPresents MUZAランチタイムコンサート3月 こんなに楽しい! 音楽室の楽器が奏でる名曲



この日は春休み中ということで、4歳から入場できる、いつもとは違ったランチタイムコンサートをお届け。しかも出演するのは、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、ピアノという、子供たちにもおなじみの楽器で行われるアンサンブル「おながくしつトリオ」の3名。

『オー・シャンゼリゼ』や『スタジオリ・メドレー』など楽しい作品から、ピアノ、チャイコフスキーなど本格派な音楽まで、幅広い選曲でした。身近な楽器でこんなに上質な音楽を奏でられるのか! と、目からうろこが落ちるひと時となりました。

(3月26日 ミューザ川崎シンフォニーホール)



アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分、京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

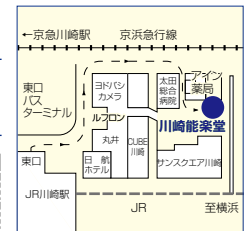
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

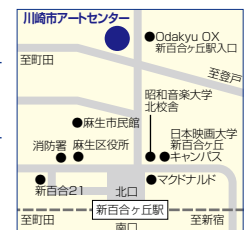
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151 <http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター

貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

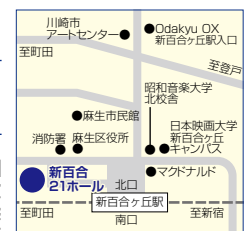
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2018.6

		1 Fri	2 Sat	3 Sun	4 Mon	5 Tue	6 Wed	7 Thu	8 Fri	9 Sat	10 Sun	11 Mon	12 Tue	13 Wed	14 Thu	15 Fri	16 Sat	17 Sun	18 Mon	19 Tue	20 Wed	21 Thu	22 Fri	23 Sat	24 Sun	25 Mon	26 Tue	27 Wed	28 Thu	29 Fri	30 Sat	7/1 Sun
アートガーデンかわさき(川崎市) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																															
	第2展示室					第4回 パーカー倶楽部写真展 6月5日(火)～10日(日)							堀野書道学校 第34回書法展 6月12日(火)～17日(日)				第37回 宗央会書藝展 6月19日(火)～24日(日)									第26回 かわさき市民アンデパンダン展 6月26日(火)～7月8日(日)						
	第3展示室	第8回 鎌倉彫早川会習作展 ～6月3日(日)																														
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎市) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																							教科用図書展示会 6月22日(金)～27日(水)			かわさきの教育書道展 6月29日(金)～7月1日(日)						
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		中原素描研究会 中原美術展 6月1日(金)～6日(水)						玉川陶芸クラブ作陶展 6月8日(金)～13日(水)					ひまわり写真クラブ展 6月15日(金)～20日(水)※18日休館					第26回はり絵ポピー作品展 6月22日(金)～27日(水)			多摩川写友会 写真展 6月29日(金)～7月4日(水)											
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) あそんでミュージアム!こどもステーション ～6月24日(日)のうち土日祝 (2F 企画展示室2・参加無料・一部有料)		●有料 中井精也 鉄道写真展 笑顔あふれる「ゆる鉄」ワールド(2F 企画 展示室1、アートギャラリー2) ～6月24日(日) 観覧料:一般600円、65歳以上・大学生・高校生450円、中学生以下無料																				 三陸鉄道 南リアス線車内										
中井精也「東急田園都市線開業50周年記念 DT moment」(2F アー トギャラリー1) ～6月24日(日)																																
鉄道模型ジオラマ展示(2F アートギャラリー3)、川崎ヒストリー展～川崎の鉄 道～(2F アートギャラリー) ～6月24日(日)																																
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		日本画「萌の会」作品展 6月1日(金)～6日(水)													高津市民活動見本市 6月15日(金)～20日(水)※18日休館					幸陽会展 6月22日(金)～27日(水)			竹の子写友会 写真展 6月29日(金)～7月4日(水)									
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第10回遊墨会作品展 6月1日(金)～6日(水)						宮前写真研究会作品展 6月8日(金)～13日(水)						造形教室アトリエチビ作品展 6月16日(土)～20日(水)※18日休館					宮前区文化協会研究発表会作品展 6月22日(金)～27日(水)			押し花ユリノキ会作品展 6月29日(金)～7月4日(水)										
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第12回 多摩いきいき写真クラブ写真展 6月1日(金)～6日(水)						麻生写交会写真展 6月8日(金)～13日(水)						第18回多摩ふれあいまつり 6月15日(金)～20日(水)※16、18日休館					地図を片手に旅だより 6月22日(金)～27日(水)			多摩絵画会展 6月29日(金)～7月4日(水)										
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)	企画展	● 有料 企画展「岡本太郎の写真――採集と思考のはざまに」展 ～7月1日(日) 観覧料:一般800円、高校・大学生・65歳以上600円、中学生以下無料																														
	常設展	● 有料 常設展「太陽の塔 誕生 ～八面六臂の岡本太郎」展 ～7月1日(日) 観覧料:企画展観覧料に準ずる。																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		麻生市民館サークル祭美術展 6月1日(金)～6日(水)※4日休館						第30回写真展 「多摩丘陵の四季」 6月8日(金)～13日(水)						パステル画展 6月15日(金)～20日(水)※18日休館					木版画あさお 作品展 6月21日(木)～27日(水)※21日は14:00より													

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／開催中～6月24日(日)

中井精也 鉄道写真展
笑顔あふれる「ゆる鉄」ワールド

鉄道にかかわるすべてのものを被写体として「ゆる鉄」という新しい鉄道写真のジャンルを生み出した中井精也。
本展では、代表作「1日1鉄!」と「夢と希望の三陸鉄道」から新作含む200点以上を一堂にご紹介します。

観覧料金等

- 会場: 2F企画展示室1、アートギャラリー2
- 観覧料: 一般600円(480円)、
65歳以上・大学生・高校生450円(360円)、
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金です。
※障害者手帳をお持ちの方およびその介護者は無料。

〈関連イベント〉

■学芸員による展示解説

- 6月16日(土)14:00～15:00 ● 企画展示室1／事前申込不要／要観覧券

特別展示／開催中～6月24日(日)

■中井精也

「東急田園都市線開業50周年記念
DT moment」

- 観覧無料／2F アートギャラリー1

DTとは、東急田園都市線の公式路線記号のことです。
2016年、東急田園都市線の溝の口～長津田間開業50周年を記念して中井精也が撮り下ろした写真約20点をご紹介します。



小津渡道 上総村上～海士有木



東急田園都市線 たまプラザ駅

関連企画

■鉄道模型ジオラマ展示

- 開催中～6月24日(日)／観覧無料
「鉄道模型ジオラマ制作ワークショップ」の受講生と、その講師陣(T-Trak Networkほか)による鉄道ジオラマを展示。南武線の武蔵小杉駅や小田栄駅なども登場します!



向ヶ丘遊園モノレール 昭和46(1971)年

■川崎ヒストリー展 ～川崎の鉄道～

- 開催中～6月24日(日)／観覧無料
川崎市内における鉄道のあゆみを、当時の資料や写真を交えてご紹介します。

■あそんでミュージアム! こどもステーション

- 開催中～6月24日(日)の土日祝のみ／
入場無料(一部有料コンテンツあり)
ダンボール電車の乗り物やすべり台、鉄道に関するワークショップなど、「鉄道」をテーマに親子で楽しく遊ぼう。記念撮影コーナーもあるよ!



映画上映／1F映像ホール／当日先着270名

宇野重吉特集～没後30周年～

没後30周年を記念して名優・宇野重吉(1914-1988)の特集します。新藤兼人、山本薩夫、吉村公三郎、清水宏といった監督たちと組んだ傑作群に加えて、宇野重吉による監督作品も上映します。(全フィルム上映)
協力:劇団民藝、寺尾 聰



『夜明け前』

上映日・料金等

- 上映日: 6月30日(土)までの土日 11:00～14:00 ※6月2日(土)・3日(日)は休映。
- 料金: 1プログラムにつき
一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円
※未就学児、障害者手帳をお持ちの方及びその介護者無料。
- 6月の上映作品: 『あやに愛(かな)しき』『しいのみ学園』『縮図』『夜明け前』『硫黄島』『人間の壁』『第五福竜丸』『ドレイ工場』

※上映スケジュールはHPまたはお電話でお問い合わせください。

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノクティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

● ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展／開催中～7月1日(日)

「岡本太郎の写真

——採集と思考のはざまに」展

写真というのは偶然を偶然でとらえて必然化することだ。

岡本太郎は若い日に留学したパリで、画家としての方向を模索するかわり、自分の行く道への裏づけを得たいという思いから哲学や社会学に関心をもちます。パリでは画家だけでなく写真家たちとも親しく交流し、ブラスイヤーマン・レイに写真の手ほどきをうけ、引き伸ばし機を譲り受けたり、たわむれに展覧会にも出品しています。

こどもたち、風土、祭りの熱狂、動物、石と木、坂道の多い街、屋根、境界。岡本がフィルムに写し取ったイメージは、取材した土地、旅先でとらえられたものです。

本展では、岡本がフィルムに写しとったモチーフ、採集したイメージを軸に、彼の眼が見つめ捉えたものを検証することで、絵画や彫刻にも通底する彼の思考を探ります。カメラのレンズが眼そのものとなったような、岡本太郎の眼差しを追体験してみてください。

展覧料金等

- 料 金: 一般800(640)円、
高校・大学生・65歳以上600(480)円、
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※常設展もあわせてご覧いただけます。
休館日: 月曜日(4月30日を除く)、5月1日(火)

〈関連イベント〉

■岡本太郎の写真から「てがつく」する

- 岡本太郎の写真から見てくるものは何か、参加者と共に語り、話しあいます。
- 進行: 神戸和佳子(哲学)、楠本亜紀(写真批評)
- 日時: 6月24日(日)14:00～16:00 ● 場所: 企画展示室 ● 対象: 中学生以上
- 定員: 15名(要予約・要観覧券)
- 申し込み: 電話受付(5月26日[土]10:00から受付開始)、先着順

常設展／開催中～7月1日(日)

「太陽の塔 誕生

はちもんろび

～八面六臂の岡本太郎」展

岡本太郎が日本万国博覧会のテーマ館プロデューサーに就任する1967年頃から、開催翌年の1971年頃までの、万博の仕事と同時進行で数多くの仕事をこなし、文字通り八面六臂の活躍をした岡本の活動について紹介します。万博のテーマ館であった《太陽の塔》を中心に、この時期に制作されたほかの作品や執筆活動、プライベートの様子など当時の岡本の多面的な活動について、作品・資料とともに紹介します。



「登野城海岸/石垣島」1959年



アトリエにて 1969年

〈その他イベント〉

はいはい&よちよち美術館ツアー

- 小さなお子さんとご家族のためのツアーです。太郎さんの作品を、お子さんと一緒にゆったりとお楽しみください。
- 日時: 6月13日(水)10:30～11:30
- 対象: 3ヵ月～3才までのお子さんとご家族の方
- 定員: 10組 ● 場所: 常設展示室
- 料金: 無料(保護者のみ要観覧料)
- 申込: 電話受付(5月16日(水)10:00から受付開始・先着順)

生命の樹を作るう

太陽の塔の内部には「生命の樹」があります。みんなの考える「生命の樹」はどんな形・色をしていますか? みんなの生命の樹で森を作りましょう!

- 日時: 6月3日(日)13:30～15:00
- 対象: 小学生以上 20名
- 場所: 常設展示室、創作アトリエ
- 料金: 観覧料のみ(中学生以下無料)
- 申込: 電話受付(5月13日10:00～)、先着順
- 展示期間: 6月5日(火)～17日(日)開館時間中

※展示期間中どなたでも参加できる自由制作スペースもあります。

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL. 900-9898 FAX. 900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日
<http://www.taromuseum.jp>

● ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



アルテリオ小劇場

劇団わが町試演会

芝居をつくろう ～いそっぷ詩より～

2012年より活動を続ける市民劇団・劇団わが町の新しい試みとして、出演はもちろんスタッフワークも劇団員主導で行う全10回のワークショップを2018年4月～6月に実施。その集大成として試演会を行います。

谷川俊太郎がイソップ童話をモチーフに書き下ろした大人から子どもまで楽しめる詩集「いそっぷ詩」を題材に、ユーモアでナンセンス、少しブラックな物語の世界を様々な手法で表現します。

2018年6月17日(日) 13:00、16:00開演 ※開場は開演の15分前

入場無料(事前要予約・5/15(火)予約受付開始・全席自由)



しんゆりジャズスクエアvol.34

日本ジャズボーカル大賞受賞のキャロル山崎がスタンダードの名曲をしっとりと唄う

心地よくスイングする大人のジャズをお贈りします。

〈予定曲〉Charade、Moon River、Poinciana、Live For Life、Autumn Leaves、Volare ほか

2018年6月29日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】キャロル山崎(vo)、右近 茂(ts)、野口久和(p)、田辺充邦(g)、佐瀬 正(b)

【チケット】一般 2,500円(全席自由・税込) ※セット券(2枚セット券:4,500円/4枚セット券:8,500円)



キャロル山崎(vo)



右近 茂(ts)



野口久和(p)



田辺充邦(g)



佐瀬 正(b)

— 今後のラインナップ —

- 2018年 9月28日(金) 昭和音楽大学の講師陣と卒業生とのコラボレーション!
- 2018年11月23日(金・祝) ジャズギターの名手が勢揃い! ジャズギターの魅力をたっぷり。
- 2019年 1月25日(金) チェット・ベイカーを彷彿とさせるヒロ川島のサウンドと歌声。
- 2019年 3月22日(金) アコーディオンを中心にシャンソン、フランス映画の名曲をフレンチジャズで。

先月発行の5月号の「しんゆりジャズスクエア」の料金表記において誤りがありました。正しい料金は上記の今月号の料金表記となります。ご迷惑をお掛けしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

★年間パスポート発売★

年間5回の開催を予定している「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、お得な年間パスポートをご用意しました! 2018年度の全ての公演をご覧頂くことができ、開場5分前までにお越し下されば優先入場でご案内致します。6月29日(金)までの期間限定販売です。

料金:10,000円

第61回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

「しんゆり寄席」の世話人・初音家左橋が「子別れ」を披露!

「子別れ」は、腕はいいが大酒飲みで遊び人の大工・熊五郎の生き様を描く人情噺の大ネタ。柳派の初代春風亭柳枝の創作落語で、三代目麗々亭柳橋や四代目柳家小さんの手を経て磨かれた古典落語。

2018年6月30日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】初音家左橋、桂米多朗、春風亭一左、金原亭駒六

【チケット】一般2,000円/学生1,000円/小学生500円(全席自由・税込) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



初音家左橋



桂米多朗

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

- プレミアムセット:4枚1組 6,000円 ● 大旦那衆セット:10枚1組 12,000円 ※有効期限は2019年3月公演まで。払い戻し不可。

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会、終演後には演者との交流会(参加費1,000円)を開催。

チケット取扱い

川崎市アートセンター [TEL] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)

- 「ジャズスクエア」の電話予約はエリアブレインでのみ取扱い。044-954-9990(月～金、10:00～18:00)

※セット券と年間パスポートは電話と窓口でのみ取扱い。

- 「しんゆり寄席」の学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。またセット券は窓口と電話のみ取扱い。

- 「芝居をつくろう」は窓口と電話のみ取扱い。



©Productions Item 7-II Inc. 2017

きみへの距離、1万キロ

5.26(土)~6.1(金)

2017年|カナダ|カラー|シネスコ|1h31|DCP

監督・脚本:キム・グエン

出演:ジョー・コール、リナ・エル＝アラビ、フェイサル・ジグラット

北アフリカの石油パイプラインを、ロボットを操縦して監視する警備会社は、アメリカのデトロイトにある。夜勤を担当するゴードンは、モニターに映る現地の少女の境遇に同情し、一計を案じる…。若者の恋をハイテクロボットが仲立ちする奇想天外なラブストーリー。



©2017 NON-STOP PRODUCTIONS - WHY NOT PRODUCTIONS

ラブレス

5.26(土)~6.8(金)

2017年|露、仏、独、ベルギー|カラー|シネスコ|2h07|DCP|R15+

監督・脚本:アンドレイ・ズビャギンツェフ

共同脚本:オレグ・ネギン

出演:マルヤーナ・スピヴァク、アレクセイ・ロズィン

離婚協議中の夫婦には、すでにそれぞれ新しいパートナーがいて、12歳の息子を押し付けあっている。そのネグレクトされた息子の失踪から始まる社会派ミステリー。欲望のままに身勝手に生きる人心の荒廃を、モスクワ郊外の冬とともに綴るズビャギンツェフの秀作。



馬を放つ

6.2(土)~6.15(金)

2017年|キルギス・フランス・ドイツ・オランダ・日本|カラー|シネスコ|1h29|DCP

監督・脚本・主演:アクタン・アリム・クバト

出演:ヌラリー・トゥルサンコジョフ、ザレマ・アサナリヴァ

中央アジアの美しい国、キルギスの民は、豊かな大地を馬で駆け、遊牧民を祖先にもつ。人々の記憶から消えつつある伝説を強く信じる主人公ケンタウロスは、人知れず厩舎に忍び込み、馬を盗んでは野に放っていたが…。監督、脚本、主演をアクタン・アリム・クバトが努めた未来へ希望を託す、現代の寓話。



©Oh Lucy, LLC

オー、ルーシー!

6.2(土)~6.15(金)

2017年|日本、アメリカ|カラー|ビスタ|1h35|DCP

監督・脚本:平柳敦子

出演:寺島しのぶ、南果歩、忽那汐里、役所広司、ジョシュ・ハートネット

43歳独身OLの節子は、姪に頼まれ一風変わった英会話教室に通い始めることに。そこで出会った講師の米国人に恋心を抱き、巻き起こされる騒動を描いたコメディ。不器用でチャーミングな主人公を寺島しのぶが、英会話講師をジョシュ・ハートネットが演じ日米豪華キャストが集結した。



©2017 bombero international GmbH & Co. KG, Macassar Productions, Pathe Production, corazon international GmbH & Co. KG, Warner Bros. Entertainment GmbH

女は二度決断する

6.2(土)~6.15(金)

2017年|ドイツ|カラー|シネスコ|1h46|DCP

監督・脚本:ファティ・アキン

出演:ダイアン・クルーガー、デニス・モシット、ヨハネス・クリシュ

ドイツ・ハンブルクでトルコ系移民の夫との間にできた息子と3人で幸せに暮らしていたカティヤはある日、夫と息子を人種差別主義のドイツ人によるテロで失ってしまう。夫の人種や前科から、思うように進まない裁判で絶望の中、彼女はある決断を下す。主演のダイアン・クルーガーは第70回カンヌ国際映画祭で主演女優賞受賞。



©Frenesy, La Cinefacture

君の名前で僕を呼んで

6.9(土)~6.22(金)

2017年|イタリア、フランス、ブラジル、アメリカ|カラー|ビスタ|2h12|DCP

監督:ルカ・グアダニーノ 脚色:ジェームズ・アイヴォリー

出演:ティモシー・シャラメ、アーミー・ハマー、マイケル・スターンバーク

1983年夏、北イタリアの避暑地を舞台に、17歳と24歳の青年の、初めての、そして生涯忘れられない恋の痛みと喜びを描き、全米で大ヒットを記録した話題作。弱冠22歳にしてアカデミー賞主演男優賞にもノミネートされ、数々の賞に輝く新星ティモシー・シャラメとアーミー・ハマーが共演し、名匠ジェームズ・アイヴォリーが脚色を担当。



©2017 AI Film Entertainment LLC. All Rights Reserved.

アイ、トーニャ

6.16(土)~6.29(金)

2017年|アメリカ|カラー|シネスコ|2h00|DCP

監督:クレイグ・ギレスピード

出演:マーゴット・ロビー、セバスチャン・スタン、アリソン・ジャネイ、マッケナ・グレイス

アメリカ人女性で初めて、史上二人目のトリプルアクセルを成功させたトーニャ・ハーディング。94年リレハンメルオリンピック出場権を得るために元夫等にライバル襲撃事件を命じたと疑惑の目を集めた。貧困脱出のために言葉と体の暴力でねじ伏せられ育った、彼女の知られざる半生を描く。



©2017 Plattform Produktion AB / Societe Parisienne de Production / Essential Filmproduktion GmbH / Coproduction Office APS

ザ・スクエア 思いやりの聖域

6.9(土)~6.22(金)

2017年|スウェーデン、ドイツ、フランス、デンマーク|カラー|ビスタ|2h31|DCP

監督・脚本:リューベン・オストルンド

出演:クレス・バンク、エリザベス・モス、ドミニク・ウェスト

有名美術館のキュレーターが発表した展示作品「ザ・スクエア」が、世間に思わぬ反響を生み、とんでもない大騒動へと発展していく皮肉な運命を描いた悲喜劇。スウェーデンの若き巨匠リューベン・オストルンド監督が現代社会が抱える様々な問題をあぶり出す。第70回カンヌ映画祭でパルムドール(最高賞)受賞。



2017 ©INFORG - M&M FILM

心と体と

6.16(土)~6.29(金)

2017年|ハンガリー|カラー|シネスコ|1h56|DCP

監督・脚本:イルディコー・エニエディ

出演:アレクサンドラ・ボルベイ、ゲーザ・モルチャーニ、レーカ・テンキ、エルヴィン・ナジ

ハンガリー・ブタペスト郊外の食肉処理場で働く孤独な男女は、ある日同じ「鹿」の夢を見ていることを発見し、急接近する。夢の中ではありのままにいられるのに、現実世界の恋は一筋縄には進まない。不思議で刺激的なラブストーリー。2017年ベルリン国際映画祭で金熊賞(最高賞)など4冠を果たした。

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

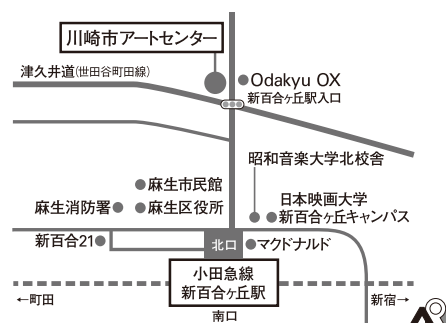
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200

info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売

◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第3火曜日
のお楽しみ
2018

ラゾーナ寄席

第72回

2018年

6月19日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…桂歌助・桂米多朗・春風亭昇吉・三遊亭金の助

■入場料…全席自由2,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



桂歌助

第26回 かわさき市民 アンデパンダ展

市内在住・在勤・在学者のアンデパンダン(無審査方式)公募展

— 絵画・写真・書道の三部門、約300点の芸術作品が勢ぞろい —

[日時] 6月26日(火)～7月8日(日) 10時～18時(入場終了17時30分・最終日は15時まで) ※7月2日(月)は休館日

[会場] アートガーデンかわさき

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F TEL.044-200-1415

主催◎川崎市民美術協議会 公益財団法人川崎市文化財団

http://www.kbz.or.jp

■ホームページアクセス用
QRコード



平成30年度 大人も子どもも楽しめる三日間のコース

夏休み 能楽体験・鑑賞教室

平成30年度
第28回

川崎能楽堂

受講料

2,500円 (鑑賞料・教材費を含む)

定員

100名

(JR川崎駅東口より徒歩5分)

(申込多数の場合は抽選)

申込方法

6月上旬より市内各施設(区役所、図書館)にて、

申込用紙を配布します。

川崎市文化財団のホームページからも申し込みます。

申込締切

7/7

定員に満たない場合は締め切り後も申し込みを受け付けます。

準備は必要ありません。足袋も扇もご用意しています。動きやすい服装でお気軽にご参加ください。

対象
年齢制限なし
どなたでも
ご参加いただけます。

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人 川崎市文化財団 夏休み能楽体験係

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階

6月8日まで TEL:044-222-8821 FAX:044-222-8817 6月9日以降 TEL:044-272-7366 FAX:044-544-9647

http://www.kbz.or.jp

日 程

7/21

お話

13:00～15:00

“能”って何? 能のお話

7/22

体験

9:30～11:30(午前の部) 13:00～15:00(午後の部)

舞、謡、笛、大鼓、小鼓、太鼓の実技体験

7/28

鑑賞

11:00開演

能「安達ヶ原」の鑑賞

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)

TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817

http://www.kbz.or.jp

平成30年6月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311